

1. 第3次総合計画における施策の体系

目指す都市像 （政策）	番号	7	名称	快適な生活を育むまち			
施策	番号	4	名称	上下水道の整備			
主担当部	上下水道部		主担当課	経営総務課		部長名	吉川 正巳
関係部	環境づくり部		関係課	上水道課・下水道課・環境衛生課			

2. 施策の基本方針（第3次総合計画の基本方針をもとに記入する）

この施策の目的	市民に対し、安全で安心できる良質な水の効率のかつ安定した供給を確保するとともに、下水道の普及と計画的かつ効率的な維持管理に努めることにより、快適な生活環境を実現することを目的とする。
---------	---------------------------------------------------------------------------------------------

3. 施策の現状分析（第3次総合計画の現状と課題をもとに記入する）

この施策の概況	この施策に対する市民ニーズなど、 具体的な事項について	社会環境や国・県の動向など、 施策を取り巻く環境について
	快適な生活基盤の整備や維持管理を求められている。	<ul style="list-style-type: none"> ・少子高齢化による人口減少、節水意識の高揚、節水機器の普及などエコ社会の進行に伴う水需要の減少が、水道財政に影響を与えることが懸念される。 ・下水道整備が進み、普及率が向上するに従って、整備区域に隣接する未整備区域等からの整備に対する高まっている。
これまでの成果	水道事業については、市民が常に安全で安心できる良質な水を安定的に供給している。また、下水道事業については、公共用水域の水質向上と快適な生活環境を提供している。	

4. 指標及びコストの推移

	名称及び単位等	28年度	29年度		30年度	備考欄	
		実績	目標	実績	目標		
指標の推移	施策指標① （成果指標）	下水道処理人口普及率	77	78	78	79	
	施策指標② （成果指標）	水道普及率	99.96	99.96	99.98	99.99	
	施策指標③ （成果指標）						
	施策指標④ （成果指標）						
	施策指標⑤ （成果指標）						
コストの推移 （単位：千円）	財源の内訳		決算	当初予算	決算	当初予算	
	歳出 （直接事業費）(a)		3,444,692	4,683,329	4,124,397	4,430,530	
	歳入 (b)	受益者負担額	906,329	1,015,608	996,622	1,038,655	
		受益者負担額以外の歳入（補助金等）	747,749	649,148	289,204	383,285	
	(a) - (b) = 一般財源		1,790,614	3,018,573	2,838,571	3,008,590	
	正職員	従事者数 （単位：人）	35.50	36.50	36.70	35.05	
		人件費(c)	202,599	208,306	213,337	203,746	
トータルコスト (a) + (c)		3,647,291	4,891,635	4,337,734	4,634,276		

5. 施策の評価

有効性の評価	この施策の 成果の達成度はどうか	1	1 高い	2 やや高い	3 やや低い	4 低い
	成果向上の 可能性はどうか	2	1 十分ある	2 ある程度ある	3 あまりない	4 ない
	説明	<ul style="list-style-type: none"> ・効率的な整備を行うため、人口密集地を優先的に整備するなど計画的な事業執行に取組んだ結果、当初目標として定めていた普及率を達成した。 ・市街化区域等の整備を推進することにより、ある程度の施策効果の向上が可能と考えられる。 				
	市政全般に対する 貢献度はどうか	1	1 高い	2 やや高い	3 やや低い	4 低い
	説明	<ul style="list-style-type: none"> ・総合計画に定めている「上下水道の整備」に直接的に貢献している施策である。 				

6. 施策の課題

この施策の課題	<ul style="list-style-type: none"> ・災害時でも安定的に水道を供給するため、施設の更新及び耐震化を計画的に進める必要がある。 ・下水道整備の普及率を向上させるため、工事コスト縮減等に継続して取組みつつ、事業を推進していく必要がある。
---------	---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

7. 次年度以降の施策の方向性

総合評価 1次評価	次年度以降の方向性	1	1 強化する	2 維持する	3 縮小する
	説明	<ul style="list-style-type: none"> ・基本計画に基づき、施設の整備・更新事業を計画的に進める必要がある。また、アウトソーシング等による経営のスリム化や給水コストの削減による経営の効率化・健全化を図る。 ・下水道事業については、経営基盤の強化、事業の健全性、計画性を向上し、地方公営企業として経営の健全化を目指す。 			
総合評価 2次評価	次年度以降の方向性		1 強化する	2 維持する	3 縮小する
	説明				

8. 構成事業の方向性（それぞれの事務事業における今後の最適手段を検証する）

1次評価	説明	<ul style="list-style-type: none"> ・経営の健全化を進めていく。また、管路の更新・耐震を積極的に行い、生活基盤整備の強化を図っていく。
2次評価	説明	

9. 施策を構成するそれぞれの事務事業の評価

この施策に関する事務事業評価の内容(評価内容の転記)										施策評価			戦 略	大 綱
No.	課名、事務事業名 及び事業種別	事業の内容	事業の方向性及び H29決算額		貢 献 度	方 向 性	優 先 度 (ソフト任意)							
1	環境衛生課	専用水道設置者より施設告示確認申請があり、確認後確認後通知を行う。完了後工事検査及び給水開始前には市とともに水質検査も行う。また、毎月の水質検査結果報告書の提出等、法定義務事項が守られているか把握したうえで、改善が見られない場合には指導を行う。	2	現状のまま継続	b	見直しなが ら続ける								
	専用水道管理事業 (ソフト(義務))		2	(千円)										
2	経営総務課	・企業会計業務…予算決算の編成、資金管理運営、資金調達業務 ・総務一般業務…契約事務、文書管理 ・人事業務…健康診断、訓練 ・下水道営業業務…下水道料金に関する業務	2	現状のまま継続	a	見直しなが ら続ける				○				
	下水道事務管理業務 (内部管理・維持管理)		833,888	(千円)										
3	経営総務課	①公営企業会計業務一予算決算の編成、資金管理運営 ②総務一般業務一事業基本計画、契約事務、文書管理、公用車管理、業務用無線管理 ③人事業務一職員研修、健康診断、訓練 ④水道営業業務一水道料金に関する業務	2	現状のまま継続	a	見直しなが ら続ける								
	上下水道部総務事業 (内部管理・維持管理)		44,396	(千円)										
4	経営総務課	渇水、事故、災害等を想定した各種訓練の実施及び災害用物資の購入。	2	現状のまま継続	b	見直しなが ら続ける								
	上下水道部非常時対 策事業 (内部管理・維持管理)		891	(千円)										
5	経営総務課	安全かつ円滑に水水道事業を進行するための拠点施設として常に機能できるよう、庁舎内の設備点検整備等を定期的に行う。	3	縮小する	b	見直しなが ら続ける								
	水道庁舎維持管理業 務 (内部管理・維持管理)		7,990	(千円)										
6	経営総務課	①水道メーター検針及び点検業務 ②開閉栓受付及び局電話受付(交換)業務 ③開閉栓業務(一部現地精算含む) ④水道料金及び下水道使用料調定業務 ⑤水道料金等収納及び滞納整理業務(給水停止を含む) ⑥水道メーター取替及び維持管理業務 ⑦給水装置工事及び指定工事業者新規受付業務 ⑧排水設備工事、指定工事店及び責任技術者受付業務	2	現状のまま継続	a	見直しなが ら続ける	A							
	お客さまセンター委託 業務 (ソフト(任意))		109,263	(千円)										
7	上水道課	ポンプ場に設置されている加圧ポンプ、制御盤、圧力タンク、ポンプ槽の機器などを仕様書に基づき、年4回の点検及びメンテナンスを実施する。1箇所あるポンプ槽については、市民への水道水の安全な供給に努めるため、年一回の清掃を実施する。	2	現状のまま継続	b	見直しなが ら続ける								
	ポンプ場維持管理事業 (内部管理・維持管理)		8,627	(千円)										
8	上水道課	開発事業事前協議会に参加し、榎原市開発指導要綱に基づき開発事業者と協議・指導を行う。また、事前協議において配管、材料等の詳細を条例、規程、要綱により協議・指導を行う。その後、工事施工前に工程、施行管理の確認を行う。	2	現状のまま継続	b	見直しなが ら続ける								
	開発協議事業 (内部管理・維持管理)		0	(千円)										

※下記評価の解説

- ・貢献度一事務事業評価の結果をもとに、この施策での貢献度(重要度)を絶対評価で示しています。
(a: 不可欠かつ施策の中核をなす事業、b: 不可欠な事業、c: 不可欠ではないが実施が望ましい事業、d: あまり有効ではない事業)
- ・方向性一事務事業評価の結果をもとに、この施策からみた各事務事業の今後の方向性を絶対評価で示しています。
(拡大する、見直しながら続ける、縮小する、廃止又は休止する、完了する)
- ・優先度(ソフト事業(任意)のみ)一施策内での事務事業の優先度を相対評価で示しています。
(優先度が高い順に A、B、C、D)

この施策に関連する事務事業評価の内容(評価内容の転記)				施策評価			戦 略	大 綱
No.	課名、事務事業名 及び事業種別	事業の内容	事業の方向性及び H29決算額	貢 献 度	方 向 性	優 先 度 (ソフト任意)		
9	上水道課	市内の上水道施設を適宜、巡視・調査を実施し、漏水や道路に設置した弁類・消火栓の不具合について早期に修理、改善を行う。また、水道管に設置されている消火栓において、定期的に水圧測定を実施し、管路の状況を把握し、安定的に水道水を供給する。	2 現状のまま継続	b	見直しな がら続け る			
	各種調査業務 (内部管理・維持管理)		0 (千円)					
10	上水道課	積算単価システムを使い適正な工事費の積算を行う。また、管路管理システムにより既存の水道施設を管理することで、水道工事の計画及び他事業者の事業協議の審査を円滑に行う。	2 現状のまま継続	b	見直しな がら続け る			
	管理計画業務 (内部管理・維持管理)		6,906 (千円)					
11	上水道課	職員の巡視や市民からの通報により水道管からの漏水を早期に調査して修理を行う。また、市民の給水装置について積極的に維持管理して有収率の向上に努める。さらに、上水道施設の安全確保について、事業者に対して地下埋設物事前協議書の提出を求めて適宜現場立会を行う。	2 現状のまま継続	a	見直しな がら続け る			
	管路維持管理事業 (内部管理・維持管理)		33,780 (千円)					
12	上水道課	給水装置工事の申請に至るまでの協議、給水申請後の書類審査、及び工事の監督給水装置完了後の検査を行う。また、新規指定工事業者の受付、審査及び指導を行う。	2 現状のまま継続	a	見直しな がら続け る			
	給水装置設置事業 (ソフト(義務))		0 (千円)					
13	上水道課	設計・施工管理・検査により、老朽化した上水道管の管路更新・耐震化を行う。	1 継続する	a	継続する			
	更新・耐震化事業 (ハード)		38,347 (千円)					
14	上水道課	計量法に基づいて、適切に取替を行う為、取替に必要な金額を算出して、委託業者と契約して取替を行う。また、閉栓中で5年以上使用されていないメーターについても適切に管理する為、取外しに必要な金額を算出し、委託業者と契約し取外しを行う。取替困難箇所については、使用者と協議を行い改善する。	2 現状のまま継続	b	見直しな がら続け る			
	水道メーター取替及び維持管理委託業務 (内部管理・維持管理)		11,795 (千円)					
15	上水道課	他事業で支障になる上水道施設の移設・復旧及びそれに伴う設計・施工管理・検査を行う。	1 継続する	b	継続する			
	配水管移設事業 (ハード)		91,981 (千円)					
16	上水道課	上水道管を拡張するために布設及びそれに伴う設計・施工管理・検査を行う。	1 継続する	b	継続する			
	配水管埋設事業 (ハード)		73,623 (千円)					
17	上水道課	・ホームページ(HP)を毎月更新し水質検査結果その他の水道事業に関する情報を広く提供する。 ・施設見学、出前講座を実施し、参加者に水道事業に対する理解を深めてもらう。資料を配布し記憶に残りやすいものにする。 ・上下水道部発行の広報誌(年2回)に、関連する業務についての記事を掲載する。	2 現状のまま継続	b	見直しな がら続け る	C		
	広報事業 (ソフト(任意))		3 (千円)					
18	上水道課	・毎日8箇所、濁度・色度・残塩の検査を行う。 ・自己水質検査を月1回、2箇所の配水場及び12箇所の自治会地区内の公共施設等の給水栓より採水して実施。 年2回、市内2箇所の耐震性貯水槽より採水して実施。 年1回、小中学校22校より採水して実施。 ・自己検査できない項目については、奈良広域水質検査センター組合に検査を委託する(管末2箇所、年4回)。	2 現状のまま継続	b	縮小する			
	水質検査事業 (内部管理・維持管理)		1,765 (千円)					

この施策に関連する事務事業評価の内容(評価内容の転記)				施策評価			戦 略	大 綱
No.	課名、事務事業名 及び事業種別	事業の内容	事業の方向性及び H29決算額	貢 献 度	方 向 性	優 先 度 (ソフト任意)		
19	上水道課	<ul style="list-style-type: none"> ・年間の送水計画を策定し、県水道局と受水調整を図りつつ、橿原市上下水道部中央管理棟からの遠隔操作により均等受水に努め、安定的に配水する。 ・ポンプ設備や電気計装設備等の定期的なメンテナンスを実施することにより、配水場施設の良好な維持管理を図る。 ・配水施設の増設及び再編による集約化を行い、更新コスト削減を図る。 	1 拡大する	a	見直しな がら続け る			
	配水場運転維持管理 事業 (内部管理・維持管理)		2,108,921 (千円)					
20	下水道課	<p>現在、事業計画の認可を受けている区域(約1,928ha)の内、人口密集地や市街化の著しい区域を優先的に、計画的かつ効率的に整備を進め、下水道処理人口普及率の向上を目指します。また、開発事業等に伴う施設建設についても、整備計画との整合や適切な維持管理に留意しながら協議・指導を行います。</p>	1 継続する	a	継続する			
	汚水施設建設事業 (ハード)		635,003 (千円)					
21	下水道課	<p>下水道施設の破損による事故や堆積物による流下能力の低下を未然に防ぐため、計画的に調査を行い、必要な箇所については、修繕・改築及び清掃を行う。</p>	2 現状のまま継続	a	見直しな がら続け る			
	下水道施設維持管理 事業 (内部管理・維持管理)		114,519 (千円)					
22	下水道課	<p>下水道への接続を促進するため普及相談員による啓発を充実する。また、貸付金制度について周知を図る。</p>	2 現状のまま継続	b	見直しな がら続け る	B		
	水洗化普及促進事業 (ソフト(任意))		2,697 (千円)					

事務事業評価表（平成29年度実施事業対象）

（作成日：平成30年6月4日）

事業の種類を選択してください。⇒ (ソフト（義務）) 事業										
P L A N 計 画	事務事業名	専用水道管理事業								
	担当部名	環境づくり部		担当課名	環境衛生課		課長名	井上 吉成		
	総合計画の 位置付け	目指す都市像(政策)	7	快適な生活を育むまち						
		施策	4	上下水道の整備						
	総合戦略の 位置付け	基本目標								
		基本的方向								
	行革大綱の 位置付け	重点項目								
		項目								
		改革名								
	予算事業名	環境衛生推進費								
事業の開始年度	平成	25	年度	事業の終了予定年度	平成		年度			
対象	専用水道設置者			事業の 内容説明	専用水道設置者より施設告示確認申請があり、確認後確認後通知を行う。完了後工事検査及び給水開始前には市とともに水質検査も行う。また、毎月の水質検査結果報告書の提出等、法定義務事項が守られているか把握したうえで、改善が見られない場合には指導を行う。					
事業の 目的	「水道法」に基づき専用水道と認められる施設を設置する申請者が適正な管理運営を図ることを目的とする。									
市 の 関 与 の 必 要 性 を 評 価 し て く だ さ い	なぜ市が 関与して いるのか	1 公共性や収益性の観点から、市が関与すべき事業								
		2 市の関与について見直す余地のある事業（民間に事業の一部又は全部を委ねる余地のあるものや、住民ニーズが低下している等、社会情勢の変化によるものなど）								
	説明									
	やめた 場合の 影響は	1 非常に大きい		2 やや大きい		3 克服できる範囲内		4 ほとんど無い		
D O 実 施	指標の 推移	名称及び単位等			28年度	29年度		30年度	31年度	
					実績	計画	実績	見込み	見込み	
	成果指標									
	活動指標①	施設件数（件）			12	12	12	12	12	
	活動指標②									
	コストの 推移 (単位： 千円)	財源の内訳			決算	当初予算	決算	当初予算		
		歳出（直接事業費）(a)			2	3	2	3		
		歳入 (b)	受益者負担額							
			受益者負担額以外の歳入（補助金等）							
		(a) - (b) = 一般財源			2	3	2	3		
正職員		従事者数（単位：人）			0.30	0.30	0.30	0.30		
		人件費 (c)			1,712	1,712	1,744	1,744		
トータルコスト (a) + (c)			1,714	1,715	1,746	1,747				
単位当 りコスト	計算式等 () / ()									
備考										

CHECK	有効性評価	現時点での成果について	1	1 十分な成果が出ている	2 概ね十分な成果が出ている	3 現時点では十分な成果が出ていない	4 成果がほとんど無く、大幅な改善が必要			
		説明	各施設において検査を行った結果、水質の異常及び不適合はなく、適正な管理を行っている。							
	現時点での有効性を評価してください	上位施策への貢献度はどうか	1	1 高い	2 やや高い	3 やや低い	4 低い			
		説明	設置者は常に安全で衛生的な飲み水管理を行っている。							
評価	効率性評価 内容や手法を見直すことにより、コストや時間の低減が可能か評価してください	説明	2	1 効率性が高く、これ以上の改善は見込めない	2 効率性が高いが、さらに改善できる余地はある	3 効率性が低く、改善が必要	4 効率性が低い、改善が見込めない			
			当業務は専門的知識が必要であるため、水道局職員にも助言・協力を求めることにより、コストや時間の軽減をすることができると考えられる。							
ACTION	この事業について、今後、具体的にどうすることにより、どんな効果が期待できるか記入してください。		専用水道は多くの人を利用する施設であり、担当課としては設置者に水の安全を確保するため、水道法等で定められている管理基準のほか、各設備の機能点検状況などの管理を行い、指導していくことで、衛生的な管理が望める。							
	修正行動	この事業の今後の方向性を、費用面も含めて記入してください	2	1 拡大する	2 現状のまま継続	3 縮小する			課内 優先度	
4 廃止又は休止する				5 完了する						
		説明	今後も現状のまま継続していく。							

事務事業評価表（平成29年度実施事業対象）

（作成日：平成30年6月6日）

事業の種類を選択してください。⇒ (内部管理・維持管理) 事業										
P L A N 計 画	事務事業名	下水道事務管理業務								
	担当部名	上下水道部	担当課名	経営総務課	課長名	林野雅仁				
	総合計画の位置付け	目指す都市像(政策)	7	快適な生活を育むまち						
		施策	4	上下水道の整備						
	総合戦略の位置付け	基本目標								
		基本的方向								
	行革大綱の位置付け	重点項目	2	選択と集中による行政経営						
		項目	1	事務事業の見直し						
		改革名	15	公共下水道事業における地方公営企業法の法適化（企業会計制度の導入）						
	予算事業名									
事業の開始年度	平成	-	年度	事業の終了予定年度	平成	-	年度			
対象	供用開始区域内の公共下水道使用者			事業の内容説明	・企業会計業務・・・予算決算の編成、資金管理運営、資金調達業務 ・総務一般業務・・・契約事務、文書管理 ・人事業務・・・健康診断、訓練 ・下水道営業業務・・・下水道料金に関する業務					
事業の目的	下水道事業の健全化									
市の関与の必要性を評価してください	なぜ市が関与しているのか	1	公共性や収益性の観点から、市が関与すべき事業							
		2	市の関与について見直す余地のある事業（民間に事業の一部又は全部を委ねる余地のあるものや、住民ニーズが低下している等、社会情勢の変化によるものなど）							
	説明									
	やめた場合の影響は	1	非常に大きい	2	やや大きい	3	克服できる範囲内	4	ほとんど無い	
D O 実 施	指標の推移	名称及び単位等			28年度	29年度		30年度	31年度	
					実績	計画	実績	見込み	見込み	
	成果指標	下水道使用料徴収率			96	98	98	98	98	
	活動指標①	徴収委託件数			178,951	179,500	151,097	182,000	182,000	
	活動指標②									
	コストの推移 (単位：千円)	財源の内訳			決算	当初予算	決算	当初予算		
		歳出（直接事業費）(a)			765,823	851,616	833,888	858,035		
		歳入(b)	受益者負担額			765,823	851,616	833,888	858,035	
			受益者負担額以外の歳入（補助金等）							
		(a) - (b) = 一般財源								
正職員		従事者数（単位：人）			1.00	2.75	2.75	2.75		
		人件費(c)			5,707	15,694	15,986	15,986		
トータルコスト(a) + (c)			771,530	867,310	849,874	874,021				
単位当たりコスト	計算式等 () / ()									
備考										

CHECK	有効性評価	現時点での成果について	2	1 十分な成果が出ている	2 概ね十分な成果が出ている	3 現時点では十分な成果が出ていない	4 成果がほとんど無く、大幅な改善が必要			
		説明	下水道接続率の上昇に伴い、下水道使用料収入が伸びてきている。							
	現時点での有効性を評価してください	上位施策への貢献度はどうか	1	1 高い	2 やや高い	3 やや低い	4 低い			
		説明	下水道事業の根幹をなす事業							
評価	効率性評価 内容や手法を見直すことにより、コストや時間の低減が可能か評価してください		2	1 効率性が高く、これ以上の改善は見込めない	2 効率性が高いが、さらに改善できる余地はある	3 効率性が低く、改善が必要	4 効率性が低い、改善が見込めない			
		説明	経費の見直し等、更なるコストの低減を図る。							
ACTION	この事業について、今後、具体的にどうすることにより、どんな効果が期待できるか記入してください。		事務の見直し等により、経営の健全化を図る。							
	修正行動	この事業の今後の方向性を、費用面も含めて記入してください	2	1 拡大する	2 現状のまま継続	3 縮小する		課内優先度		
説明			4 廃止又は休止する	5 完了する						
		説明	普及率、接続率を向上させ、使用料収入の確保を図る。							

事務事業評価表（平成29年度実施事業対象）

（作成日：平成30年6月6日）

事業の種類を選択してください。⇒ (内部管理・維持管理) 事業										
P L A N 計 画	事務事業名	上下水道部総務事業								
	担当部名	上下水道部		担当課名	経営総務課		課長名	林野雅仁		
	総合計画の位置付け	目指す都市像(政策)	7	快適な生活を育むまち						
		施策	4	上下水道の整備						
	総合戦略の位置付け	基本目標								
		基本的方向								
	行革大綱の位置付け	重点項目								
		項目								
		改革名								
	予算事業名									
事業の開始年度	昭和	45	年度	事業の終了予定年度	平成	-	年度			
対象	給水世帯			事業の内容説明	①公営企業会計業務-予算決算の編成、資金管理運営 ②総務一般業務-事業基本計画、契約事務、文書管理、公用車管理、業務用無線管理 ③人事業務-職員研修、健康診断、訓練 ④水道営業業務-水道料金に関する業務					
事業の目的	水道事業の健全化									
市 の 関 与 の 必 要 性 を 評 価 し て く だ さ い	なぜ市が関与しているのか		1 公共性や収益性の観点から、市が関与すべき事業							
			2 市の関与について見直す余地のある事業（民間に事業の一部又は全部を委ねる余地のあるものや、住民ニーズが低下している等、社会情勢の変化によるものなど）							
	説明									
	やめた場合の影響は		1 非常に大きい	2 やや大きい	3 克服できる範囲内	4 ほとんど無い				
D O 実 施	指標の推移	名称及び単位等			28年度	29年度		30年度	31年度	
					実績	計画	実績	見込み	見込み	
	成果指標									
	活動指標①									
	活動指標②									
	コストの推移 (単位：千円)	財源の内訳			決算	当初予算	決算	当初予算		
		歳出（直接事業費）(a)			27,461	48,302	44,396	50,881		
		歳入(b)	受益者負担額			27,461	48,302	44,396	50,881	
			受益者負担額以外の歳入（補助金等）							
		(a) - (b) = 一般財源								
正職員		従事者数（単位：人）			2.85	2.80	2.85	2.80		
		人件費(c)			16,265	15,980	16,567	16,276		
トータルコスト(a) + (c)			43,726	64,282	60,963	67,157				
単位当たりコスト	計算式等 () / ()									
備考										

CHECK	有効性評価	現時点での成果について	1	1 十分な成果が出ている	2 概ね十分な成果が出ている	3 現時点では十分な成果が出ていない	4 成果がほとんど無く、大幅な改善が必要			
		説明	健全な経営が行われている。							
	現時点での有効性を評価してください	上位施策への貢献度はどうか	1	1 高い	2 やや高い	3 やや低い	4 低い			
		説明	上水道事業の根幹をなす業務である。							
評価	効率性評価 内容や手法を見直すことにより、コストや時間の低減が可能か評価してください	1	1 効率性が高く、これ以上の改善は見込めない	2 効率性が高いが、さらに改善できる余地はある	3 効率性が低く、改善が必要	4 効率性が低い、改善が見込めない				
		説明	健全な経営が行われているため、削減の余地はない。							
ACTION	この事業について、今後、具体的にどうすることにより、どんな効果が期待できるか記入してください。		更なる業務の効率化を図る。							
	修正行動	この事業の今後の方向性を、費用面も含めて記入してください	2	1 拡大する	2 現状のまま継続	3 縮小する			課内優先度	
説明			4 廃止又は休止する	5 完了する	今後も「安全で安心、安定して水道の供給」をすべく努力する。					

事務事業評価表（平成29年度実施事業対象）

（作成日：平成30年6月6日）

事業の種類を選択してください。⇒ (内部管理・維持管理) 事業										
P L A N 計 画	事務事業名	上下水道部非常時対策事業								
	担当部名	上下水道部		担当課名	経営総務課		課長名	林野雅仁		
	総合計画の 位置付け	目指す都市像(政策)	7	快適な生活を育むまち						
		施策	4	上下水道の整備						
	総合戦略の 位置付け	基本目標								
		基本的方向								
	行革大綱の 位置付け	重点項目								
		項目								
		改革名								
	予算事業名									
事業の開始年度	平成	-	年度	事業の終了予定年度	平成	-	年度			
対象	市民			事業の 内容説明	事業の 内容説明 漏水、事故、災害等を想定した各種訓練の実施及び災害用物資の購入。					
事業の 目的	漏水、事故、災害等の不測の事態に際し、的確な初動活動ができる体制を確立し、安全な水道供給により市民生活を守る。									
市 の 関 与 の 必 要 性 を 評 価 し て く だ さ い	なぜ市が 関与して いるのか	1 公共性や収益性の観点から、市が関与すべき事業								
		2 市の関与について見直す余地のある事業（民間に事業の一部又は全部を委ねる余地のあるものや、住民ニーズが低下している等、社会情勢の変化によるものなど）								
	説明									
	やめた 場合の 影響は	1 非常に大きい		2 やや大きい		3 克服できる範囲内		4 ほとんど無い		
D O 実 施	指標の 推移	名称及び単位等			28年度	29年度		30年度	31年度	
					実績	計画	実績	見込み	見込み	
	成果指標									
	活動指標①	年間訓練実施回数			4	4	4	4	4	
	活動指標②									
	コストの 推移 (単位： 千円)	財源の内訳			決算	当初予算	決算	当初予算		
		歳出（直接事業費）(a)			828	1,241	891	1,264		
		歳入 (b)	受益者負担額			828	1,241	891	1,264	
			受益者負担額以外の歳入（補助金等）							
		(a) - (b) = 一般財源								
正職員		従事者数（単位：人）			1.40	1.20	1.40	1.20		
		人件費 (c)			7,990	6,848	8,138	6,976		
トータルコスト (a) + (c)			8,818	8,089	9,029	8,240				
単位当 りコスト	計算式等 () / ()									
備考										

CHECK	有効性評価	現時点での成果について	1	1 十分な成果が出ている	2	概ね十分な成果が出ている	3	現時点では十分な成果が出ていない	4	成果がほとんど無く、大幅な改善が必要	
		説明	定期的に訓練を実施することにより、職員の危機管理意識の向上につながる。								
	現時点での有効性を評価してください	上位施策への貢献度はどうか	1	1 高い	2	やや高い	3	やや低い	4	低い	
		説明	非常時に市民生活を守るという観点において非常に重要である。								
評価	効率性評価 内容や手法を見直すことにより、コストや時間の低減が可能か評価してください	1	1	1 効率性が高く、これ以上の改善は見込めない	2	効率性が高いが、さらに改善できる余地はある	3	効率性が低く、改善が必要	4	効率性が低い、改善が見込めない	
		説明	削減の余地はない。								
ACTION	この事業について、今後、具体的にどうすることにより、どんな効果が期待できるか記入してください。		今後も継続的に訓練を実施し、上下水道部職員の危機管理意識の向上を図る。								
	修正行動	この事業の今後の方向性を、費用面も含めて記入してください	2	1 拡大する	2	現状のまま継続	3	縮小する	課内優先度		
説明			4 廃止又は休止する	5	完了する						
		説明	今後も継続し、上下水道部職員の危機管理意識の向上を図る。								

事務事業評価表（平成29年度実施事業対象）

（作成日：平成30年6月6日）

事業の種類を選択してください。⇒ (内部管理・維持管理) 事業												
P L A N 計 画	事務事業名	水道庁舎維持管理業務										
	担当部名	上下水道部	担当課名	経営総務課	課長名	林野雅仁						
	総合計画の位置付け	目指す都市像(政策)	7	快適な生活を育むまち								
		施策	4	上下水道の整備								
	総合戦略の位置付け	基本目標										
		基本的方向										
	行革大綱の位置付け	重点項目										
		項目										
		改革名										
	予算事業名											
事業の開始年度	平成	2	年度	事業の終了予定年度	平成	-	年度					
対象	市民・給水世帯			事業の内容説明	安全かつ円滑に水道事業を進行するための拠点施設として常に機能できるよう、庁舎内の設備点検整備等を定期的に行う。							
事業の目的	水道庁舎を安全に維持管理し、通常時・非常時を問わず市有働事業を円滑に進行する。											
市の関与の必要性を評価してください	なぜ市が関与しているのか		1 公共性や収益性の観点から、市が関与すべき事業									
			2 市の関与について見直す余地のある事業（民間に事業の一部又は全部を委ねる余地のあるものや、住民ニーズが低下している等、社会情勢の変化によるものなど）									
	説明											
	やめた場合の影響は		1 非常に大きい	2 やや大きい	3 克服できる範囲内	4 ほとんど無い						
D O 実 施	指標の推移	名称及び単位等			28年度	29年度		30年度	31年度			
					実績	計画	実績	見込み	見込み			
	成果指標											
	活動指標①											
	活動指標②											
	コストの推移 (単位：千円)	財源の内訳			決算	当初予算	決算	当初予算				
		歳出（直接事業費）(a)			8,106	9,368	7,990	2,961				
		歳入(b)	受益者負担額			8,106	9,368	7,990	2,961			
			受益者負担額以外の歳入（補助金等）									
		(a) - (b) = 一般財源										
正職員		従事者数（単位：人）			1.20	1.30	1.30	1.10				
		人件費(c)			6,848	7,419	7,557	6,394				
トータルコスト(a) + (c)			14,954	16,787	15,547	9,355						
単位当たりコスト	計算式等 () / ()											
備考												

CHECK	有効性評価	現時点での成果について	2	1 十分な成果が出ている	2 概ね十分な成果が出ている	3 現時点では十分な成果が出ていない	4 成果がほとんど無く、大幅な改善が必要			
		説明	機能及び安全性を維持する。							
	現時点での有効性を評価してください	上位施策への貢献度はどうか	1	1 高い	2 やや高い	3 やや低い	4 低い			
		説明	水道事業の拠点施設としての役割をなす。							
評価	効率性評価 内容や手法を見直すことにより、コストや時間の低減が可能か評価してください		2	1 効率性が高く、これ以上の改善は見込めない	2 効率性が高いが、さらに改善できる余地はある	3 効率性が低く、改善が必要	4 効率性が低い、改善が見込めない			
		説明	維持管理に対する一定の投資は必要である。							
ACTION	この事業について、今後、具体的にどうすることにより、どんな効果が期待できるか記入してください。		見直しの必要なし。							
	修正行動	この事業の今後の方向性を、費用面も含めて記入してください	3	1 拡大する	2 現状のまま継続	3 縮小する		課内優先度		
説明			4 廃止又は休止する	5 完了する						
		説明	最小限の庁舎機能を適切に維持する。							

事務事業評価表（平成29年度実施事業対象）

（作成日：平成30年6月6日）

事業の種類を選択してください。⇒		（ ソフト（任意） ）		事業					
P L A N 計 画	事務事業名	お客さまセンター委託業務							
	担当部名	上下水道部	担当課名	経営総務課	課長名	林野雅仁			
	総合計画の位置付け	目指す都市像(政策)	7	快適な生活を育むまち					
		施策	4	上下水道の整備					
	総合戦略の位置付け	基本目標							
		基本的方向							
	行革大綱の位置付け	重点項目							
		項目							
		改革名							
	予算事業名								
事業の開始年度	平成	19	年度	事業の終了予定年度	平成	-	年度		
対象	給水世帯			事業の内容説明	①水道メーター検針及び点検業務 ②開閉栓受付及び局電話受付（交換）業務 ③開閉栓業務（一部現地精算含む） ④水道料金及び下水道使用料調定業務 ⑤水道料金等収納及び滞納整理業務（給水停止を含む） ⑥水道メーター取替及び維持管理業務 ⑦給水装置工事及び指定工事業者新規受付業務 ⑧排水設備工事、指定工事店及び責任技術者受付業務 ⑨その他付帯業務 以上の業務を民間業者に委託				
事業の目的	適切な料金請求と収納								
市の関与の必要性を評価してください	なぜ市が関与しているのか	1	1 公共性や収益性の観点から、市が関与すべき事業						
		2	市の関与について見直す余地のある事業（民間に事業の一部又は全部を委ねる余地のあるものや、住民ニーズが低下している等、社会情勢の変化によるものなど）						
	説明	市民サービスの向上と経費削減等経営健全化のため民間業者に包括委託している。							
	やめた場合の影響は	1	1 非常に大きい	2 やや大きい	3 克服できる範囲内	4 ほとんど無い			
説明	人件費等の増加が予測される。								
D O 実 施	指標の推移	名称及び単位等			28年度	29年度		30年度	31年度
					実績	計画	実績	見込み	見込み
	成果指標	収納率（収納額/調定額）			98%	98%	98%	98%	98%
	活動指標①								
	活動指標②								
	コストの推移 （単位：千円）	財源の内訳			決算	当初予算	決算	当初予算	
		歳出（直接事業費）（a）			103,686	104,781	109,263	125,232	
		歳入（b）	受益者負担額			103,686	104,781	109,263	125,232
			受益者負担額以外の歳入（補助金等）						
		(a) - (b) = 一般財源							
正職員		従事者数（単位：人）			1.80	1.80	1.80	1.60	
		人件費（c）			10,273	10,273	10,463	9,301	
トータルコスト（a）+（c）			113,959	115,054	119,726	134,533			
単位当たりコスト	計算式等 () / ()								
備考									

CHECK	有効性評価	現時点での成果について	2	1 十分な成果が出ている	2 概ね十分な成果が出ている	3 現時点では十分な成果が出ていない	4 成果がほとんど無く、大幅な改善が必要			
		説明	民間経営のノウハウを活かした市民サービスの向上が図られている。							
	現時点での有効性を評価してください	上位施策への貢献度はどうか	1	1 高い	2 やや高い	3 やや低い	4 低い			
		説明	市民に安定した料金で水を提供することができる。							
評価	効率性評価 内容や手法を見直すことにより、コストや時間の低減が可能か評価してください	1	1 効率性が高く、これ以上の改善は見込めない	2 効率性が高いが、さらに改善できる余地はある	3 効率性が低く、改善が必要	4 効率性が低い、改善が見込めない				
		説明	コストの削減はサービスの低下につながるおそれがある。							
ACTION	この事業について、今後、具体的にどうすることにより、どんな効果が期待できるか記入してください。		民間経営のノウハウを活かすことにより、より一層の市民サービスの向上が期待できる。							
	修正行動	この事業の今後の方向性を、費用面も含めて記入してください	2	1 拡大する	2 現状のまま継続	3 縮小する	課内優先度		B	
説明			4 廃止又は休止する	5 完了する	安定した業務遂行のための指導監督を継続する。					

事務事業評価表（平成29年度実施事業対象）

（作成日：平成30年6月6日）

事業の種類を選択してください。⇒ (内部管理・維持管理) 事業										
P L A N 計 画	事務事業名	ポンプ場維持管理事業								
	担当部名	上下水道部		担当課名	上水道課		課長名	山下義孝		
	総合計画の位置付け	目指す都市像(政策)	7	快適な生活を育むまち						
		施策	4	上下水道の整備						
	総合戦略の位置付け	基本目標								
		基本的方向								
	行革大綱の位置付け	重点項目								
		項目								
		改革名								
	予算事業名									
事業の開始年度	平成	-	年度	事業の終了予定年度	平成	-	年度			
対象	ポンプ場施設			事業の内容説明	ポンプ場に設置されている加圧ポンプ、制御盤、圧力タンク、ポンプ槽の機器などを仕様書に基づき、年4回の点検及びメンテナンスを実施する。1箇所あるポンプ槽については、市民への水道水の安全な供給に努めるため、年一回の清掃を実施する。					
事業の目的	上水の安定供給を図るためポンプ場施設の点検や清掃などを行うことを目的とする。									
市 の 関 与 の 必 要 性 を 評 価 し て く だ さ い	妥当性評価	なぜ市が関与しているのか	1 公共性や収益性の観点から、市が関与すべき事業							
			2 市の関与について見直す余地のある事業（民間に事業の一部又は全部を委ねる余地のあるものや、住民ニーズが低下している等、社会情勢の変化によるものなど）							
	やめた場合の影響は	説明								
		説明	1 非常に大きい	2 やや大きい	3 克服できる範囲内	4 ほとんど無い				
D O 実 施	指標の推移	名称及び単位等			28年度	29年度		30年度	31年度	
					実績	計画	実績	見込み	見込み	
	成果指標									
	活動指標①	保守点検箇所数			6	6	6	6	6	
	活動指標②									
	コストの推移 (単位：千円)	財源の内訳			決算	当初予算	決算	当初予算		
		歳出（直接事業費）(a)			5,379	6,295	8,627	7,401		
		歳入(b)	受益者負担額							
			受益者負担額以外の歳入（補助金等）							
		(a) - (b) = 一般財源			5,379	6,295	8,627	7,401		
正職員		従事者数（単位：人）			0.35	0.50	0.50	0.65		
		人件費(c)			1,997	2,854	2,907	3,778		
トータルコスト(a) + (c)			7,376	9,149	11,534	11,179				
単位当たりコスト	計算式等 (トータルコスト) / (活動指標①)			1,229	1,524	1,922	1,863			
備考										

CHECK	有効性評価	現時点での成果について	1	1 十分な成果が出ている	2 概ね十分な成果が出ている	3 現時点では十分な成果が出ていない	4 成果がほとんど無く、大幅な改善が必要			
		説明	ポンプ場の確実な運転による水圧確保と清掃による水質の保全が維持されている。							
	現時点での有効性を評価してください	上位施策への貢献度はどうか	1	1 高い	2 やや高い	3 やや低い	4 低い			
		説明	施設の更新を適切に実施し、経年劣化による故障等を回避し、継続的な安定供給を目指す。							
評価	効率性評価 内容や手法を見直すことにより、コストや時間の低減が可能か評価してください	1	1 効率性が高く、これ以上の改善は見込めない	2 効率性が高いが、さらに改善できる余地はある	3 効率性が低く、改善が必要	4 効率性が低い、改善が見込めない				
		説明	平成22年度に点検頻度の見直しを実施したが、これ以上の低減はリスクが伴うため困難である。今後も適切な点検・メンテナンスを実施し、安全性の確保を図る。							
ACTION	この事業について、今後、具体的にどうすることにより、どんな効果が期待できるか記入してください。		ポンプ場の保守点検や清掃を定期的実施することにより、不具合を早期に発見し、迅速な対応が可能である。また過去の経過を把握し、今後の保全計画を立てることで機器の安全性に努めていく。							
	修正行動	この事業の今後の方向性を、費用面も含めて記入してください	2	1 拡大する	2 現状のまま継続	3 縮小する			課内優先度	
説明			4 廃止又は休止する	5 完了する	上水道事業において、水道水の安定供給と水質の確保は非常に重要であり、今後も継続が必要である。ポンプ場については、維持管理だけでなく、将来的には順次機器の更新が必要となるため、ポンプ場の統廃合等を含めた計画的な運用を実施し、更なる効率化を目指していく。					

事務事業評価表（平成29年度実施事業対象）

（作成日：平成30年6月6日）

事業の種類を選択してください。⇒ (内部管理・維持管理) 事業										
P L A N 計 画	事務事業名	開発協議事業								
	担当部名	上下水道部		担当課名	上水道課		課長名	山下義孝		
	総合計画の位置付け	目指す都市像(政策)	7	快適な生活を育むまち						
		施策	4	上下水道の整備						
	総合戦略の位置付け	基本目標								
		基本的方向								
	行革大綱の位置付け	重点項目								
		項目								
		改革名								
	予算事業名									
事業の開始年度	平成	-	年度	事業の終了予定年度	平成	-	年度			
対象	開発事業者			事業の内容説明	開発事業事前協議会に参加し、檀原市開発指導要綱に基づき開発事業者に協議・指導を行う。また、事前協議において配管、材料等の詳細を条例、規程、要綱により協議・指導を行う。その後、工事施工前に工程、施行管理の確認を行う。					
事業の目的	檀原市仕様に基づく水道施設の設置のため、開発工事の書類審査及び協議・指導を行うことを目的とする。									
市 の 関 与 の 必 要 性 を 評 価 し て く だ さ い	なぜ市が関与しているのか	1 公共性や収益性の観点から、市が関与すべき事業								
		2 市の関与について見直す余地のある事業（民間に事業の一部又は全部を委ねる余地のあるものや、住民ニーズが低下している等、社会情勢の変化によるものなど）								
	説明									
	やめた場合の影響は	1 非常に大きい		2 やや大きい		3 克服できる範囲内		4 ほとんど無い		
D O 実 施	指標の推移	名称及び単位等			28年度	29年度		30年度	31年度	
					実績	計画	実績	見込み	見込み	
	成果指標									
	活動指標①	開発協議件数			42	40	69	40	40	
	活動指標②	負担金工事件数								
	コストの推移 (単位：千円)	財源の内訳			決算	当初予算	決算	当初予算		
		歳出（直接事業費）(a)								
		歳入(b)	受益者負担額							
			受益者負担額以外の歳入（補助金等）							
		(a) - (b) = 一般財源								
正職員		従事者数（単位：人）			0.85	0.90	0.85	0.60		
		人件費(c)			4,851	5,136	4,941	3,488		
トータルコスト(a) + (c)			4,851	5,136	4,941	3,488				
単位当たりコスト	計算式等 (トータルコスト) / (活動指標①)			116	128	72	87			
備考										

CHECK 評価	有効性 評価	現時点での 成果について	2	1 十分な成果が出ている	2 概ね十分な成果が出ている	3 現時点では十分な成果が出ていない	4 成果がほとんど無く、大幅な改善が必要			
		説明	開発事業事前協議会に参加することで、事務の効率化を図っている。							
	現時点での 有効性を評価してください	上位施策 への貢献 度はどうか	2	1 高い	2 やや高い	3 やや低い	4 低い			
		説明	この事業を行うことにより、開発事業者が橿原市仕様に適合した上水道施設を適切に設置している。							
評価	効率性評価 内容や手法を見直すこと により、コストや時間の低 減が可能か評価してくだ さい	2	1 効率性が高く、これ以上の改善は見込めない	2 効率性が高いが、さらに改善できる余地はある	3 効率性が低く、改善が必要	4 効率性が低い、改善が見込めない				
		説明	開発事業事前協議会において、橿原市仕様に適合した上水道施設の周知徹底を図ることにより、事務の効率化を図る。							
ACTION	この事業について、今後、 具体的にどうすることにより、 どんな効果が期待できるか 記入してください。		開発事業者が橿原市仕様に適合した上水道施設を適切に設置するために、開発指導要綱の見直しを行い、さらに周知徹底を図りたい。							
	修正 行動	この事業の今後の方向性を、 費用面も含めて記入してく ださい	2	1 拡大する	2 現状のまま継続	3 縮小する	課内 優先度			
説明			4 廃止又は休止する	5 完了する	開発事業事前協議会において、説明内容を見直しながら、開発事業者への条例、規程、要綱の周知徹底により事務の効率化を図る。					

事務事業評価表（平成29年度実施事業対象）

（作成日：平成30年6月6日）

事業の種類を選択してください。⇒ (内部管理・維持管理) 事業											
P L A N 計 画	事務事業名	各種調査業務									
	担当部名	上下水道部		担当課名	上水道課		課長名	山下義孝			
	総合計画の 位置付け	目指す都市像(政策)	7	快適な生活を育むまち							
		施策	4	上下水道の整備							
	総合戦略の 位置付け	基本目標									
		基本的方向									
	行革大綱の 位置付け	重点項目									
		項目									
		改革名									
	予算事業名										
事業の開始年度	平成	-	年度	事業の終了予定年度	平成	-	年度				
対象	上水道施設			事業の 内容説明	市内の上水道施設を適宜、巡視・調査を実施し、漏水や道路に設置した弁類・消火栓の不具合について早期に修理、改善を行う。また、水道管に設置されている消火栓において、定期的な水圧測定を実施し、管路の状況を把握し、安定的に水道水を供給する。						
事業の 目的	現状の把握と配水計画を立てるために、上水道施設を各種資料を基に調査する。										
市 の 関 与 の 必 要 性 を 評 価 し て く だ さ い	なぜ市が 関与して いるのか		1 公共性や収益性の観点から、市が関与すべき事業								
			2 市の関与について見直す余地のある事業（民間に事業の一部又は全部を委ねる余地のあるものや、住民ニーズが低下している等、社会情勢の変化によるものなど）								
	説明										
	やめた 場合の 影響は		1 非常に大きい	2 やや大きい	3 克服できる範囲内	4 ほとんど無い					
D O 実 施	指標の 推移	名称及び単位等			28年度	29年度		30年度	31年度		
					実績	計画	実績	見込み	見込み		
	成果指標										
	活動指標①	配水管延長（km）			596	600	596	604	606		
	活動指標②										
	コストの 推移 (単位： 千円)	財源の内訳			決算	当初予算	決算	当初予算			
		歳出（直接事業費）(a)									
		歳入 (b)	受益者負担額								
			受益者負担額以外の歳入（補助金等）								
		(a) - (b) = 一般財源									
正職員		従事者数（単位：人）			0.75	0.75	0.75	0.85			
		人件費 (c)			4,280	4,280	4,360	4,941			
トータルコスト (a) + (c)			4,280	4,280	4,360	4,941					
単位当 りコスト	計算式等 () / ()										
備考	水道関連施設の巡視及び年二回の水圧測定を実施して、水道水を安定供給した。										

CHECK	有効性評価	現時点での成果について	1	1 十分な成果が出ている	2 概ね十分な成果が出ている	3 現時点では十分な成果が出ていない	4 成果がほとんど無く、大幅な改善が必要			
		説明	漏水を早期に発見することができている。また、道路構造物の不良による2次災害を未然に防止できている。							
	現時点での有効性を評価してください	上位施策への貢献度はどうか	1	1 高い	2 やや高い	3 やや低い	4 低い			
		説明	調査による管路網の状況把握が、配水や給水等の各種計画の策定にあたり必要不可欠である。							
評価	効率性評価 内容や手法を見直すことにより、コストや時間の低減が可能か評価してください	2	1 効率性が高く、これ以上の改善は見込めない	2 効率性が高いが、さらに改善できる余地はある	3 効率性が低く、改善が必要	4 効率性が低い、改善が見込めない				
		説明	各種調査は、水道水の安定供給及び健全な経営に必要不可欠であり、職員の技術を向上させることで、より効率的に把握できる。							
ACTION	この事業について、今後、具体的にどうすることにより、どんな効果が期待できるか記入してください。		職員の技術を向上させることにより、漏水修理や道路構造物の修繕を更に迅速に行うことができる。また、管路の現状把握に注力することにより、各種計画の策定に際して更に調査結果を活用することができる。							
	修正行動	この事業の今後の方向性を、費用面も含めて記入してください	2	1 拡大する	2 現状のまま継続	3 縮小する			課内優先度	
4 廃止又は休止する			5 完了する							
		説明	各種調査は、必要不可欠であり、更に効率的で効果的な調査方法を検討する。							

事務事業評価表（平成29年度実施事業対象）

（作成日：平成30年6月6日）

事業の種類を選択してください。⇒ (内部管理・維持管理) 事業											
P L A N 計 画	事務事業名	管理計画業務									
	担当部名	上下水道部		担当課名	上水道課		課長名	山下義孝			
	総合計画の位置付け	目指す都市像(政策)	7	快適な生活を育むまち							
		施策	4	上下水道の整備							
	総合戦略の位置付け	基本目標									
		基本的方向									
	行革大綱の位置付け	重点項目									
		項目									
		改革名									
	予算事業名										
事業の開始年度	平成	-	年度	事業の終了予定年度	平成	-	年度				
対象	設計積算システム (Aquq -Σ) 及び管路管理システム (Waters)			事業の内容説明	積算単価システムを使い適正な工事費の積算を行う。また、管路管理システムにより既存の水道施設を管理することで、水道工事の計画及び他事業者の事業協議の審査を円滑に行う。						
事業の目的	円滑な事業の進捗を図り工事成果を上げるため、上水道施設を管理・計画することを目的とする。										
妥当性評価	なぜ市が関与しているのか	1 公共性や収益性の観点から、市が関与すべき事業									
		2 市の関与について見直す余地のある事業（民間に事業の一部又は全部を委ねる余地のあるものや、住民ニーズが低下している等、社会情勢の変化によるものなど）									
	市の関与の必要性を評価してください	説明									
	やめた場合の影響は	説明	1 非常に大きい	2 やや大きい	3 克服できる範囲内	4 ほとんど無い					
D O 実 施	指標の推移	名称及び単位等			28年度	29年度		30年度	31年度		
	成果指標				実績	計画	実績	見込み	見込み		
	活動指標①	GIS入力（工事）件数（率）			100	100	100	100	100		
	活動指標②	GIS入力（給水）件数（率）			100	100	100	100	100		
	コストの推移 （単位：千円）	財源の内訳			決算	当初予算	決算	当初予算			
		歳出（直接事業費）(a)			5,394	7,199	6,906	6,813			
		歳入(b)	受益者負担額								
			受益者負担額以外の歳入（補助金等）								
		(a) - (b) = 一般財源			5,394	7,199	6,906	6,813			
		正職員	従事者数（単位：人）			1.50	1.40	1.40	1.25		
人件費(c)			8,561	7,990	8,138	7,266					
単位当たりコスト	トータルコスト (a) + (c)			13,955	15,189	15,044	14,079				
	計算式等 () / ()										
備考	システムを利用することにより、迅速な事務作業に寄与している。										

CHECK	有効性評価	現時点での成果について	2	1 十分な成果が出ている	2 概ね十分な成果が出ている	3 現時点では十分な成果が出ていない	4 成果がほとんど無く、大幅な改善が必要			
		説明	システムを活用することにより、蓄積されたデータを有効利用している。							
	現時点での有効性を評価してください	上位施策への貢献度はどうか	2	1 高い	2 やや高い	3 やや低い	4 低い			
		説明	工事費の積算や事業協議の審査等において蓄積されたデータを活用することができるため、重要な事業である。							
評価	効率性評価 内容や手法を見直すことにより、コストや時間の低減が可能か評価してください		2	1 効率性が高く、これ以上の改善は見込めない	2 効率性が高いが、さらに改善できる余地はある	3 効率性が低く、改善が必要	4 効率性が低い、改善が見込めない			
		説明	給水申請について管路管理システムを通して把握することにより、更なる時間の削減が可能である。							
ACTION	この事業について、今後、具体的にどうすることにより、どんな効果が期待できるか記入してください。		給水申請について入力件数を把握して管路管理システムに入力することにより、GISデータの精度の向上を図り、水道工事の計画及び他事業者の事前協議の審査を円滑に進めることが期待できる。							
	修正行動	この事業の今後の方向性を、費用面も含めて記入してください	2	1 拡大する	2 現状のまま継続	3 縮小する	課内優先度			
説明			4 廃止又は休止する	5 完了する	管路管理システムについて、施設の新設及び改廃に合わせてデータを入力して管理するため、継続して実施することが必要である。					

事務事業評価表（平成29年度実施事業対象）

（作成日：平成30年6月6日）

事業の種類を選択してください。⇒ (内部管理・維持管理) 事業											
P L A N	事務事業名	管路維持管理事業									
	担当部名	上下水道部		担当課名	上水道課		課長名	山下義孝			
	総合計画の位置付け	目指す都市像(政策)	7	快適な生活を育むまち							
		施策	4	上下水道の整備							
	総合戦略の位置付け	基本目標									
		基本的方向									
	行革大綱の位置付け	重点項目									
		項目									
		改革名									
	予算事業名										
事業の開始年度	平成	-	年度	事業の終了予定年度	平成	-	年度				
対象	上水道管路及び施設			事業の内容説明	職員の巡視や市民からの通報により水道管からの漏水を早期に調査して修理を行う。また、市民の給水装置について積極的に維持管理して有収率の向上に努める。さらに、上水道施設の安全確保について、事業者に対して地下埋設物事前協議書の提出を求めて適宜現場立会を行う。						
事業の目的	上水の安定供給を図るため、上水道を維持管理することを目的とする。										
D O 実 施	妥当性評価	なぜ市が関与しているのか	1 公共性や収益性の観点から、市が関与すべき事業								
			2 市の関与について見直す余地のある事業（民間に事業の一部又は全部を委ねる余地のあるものや、住民ニーズが低下している等、社会情勢の変化によるものなど）								
	市の関与の必要性を評価してください	説明									
		やめた場合の影響は	1 非常に大きい	2 やや大きい	3 克服できる範囲内	4 ほとんど無い					
D O 実 施	指標の推移	名称及び単位等	28年度	29年度		30年度	31年度				
			実績	計画	実績	見込み	見込み				
	成果指標										
	活動指標①	修理件数（件）	489	500	459	500	500				
	活動指標②	給水戸数（戸）	47,599	48,000	48,294	48,600	48,900				
	コストの推移 (単位：千円)	財源の内訳		決算	当初予算	決算	当初予算				
		歳出（直接事業費）(a)		30,531	41,134	33,780	35,869				
		歳入(b)	受益者負担額								
			受益者負担額以外の歳入（補助金等）								
		(a) - (b) = 一般財源		30,531	41,134	33,780	35,869				
正職員		従事者数（単位：人）		1.10	1.10	1.10	1.10				
		人件費(c)		6,278	6,278	6,394	6,394				
トータルコスト(a) + (c)		36,809	47,412	40,174	42,263						
単位当たりコスト	計算式等 (トータルコスト) / (活動指標①)		75	95	88	85					
備考	適切な漏水修理対応や他工事における現場立会の実施により、上水道施設の安全を確保した。										

CHECK	有効性評価	現時点での成果について	1	1 十分な成果が出ている	2 概ね十分な成果が出ている	3 現時点では十分な成果が出ていない	4 成果がほとんど無く、大幅な改善が必要			
		説明	漏水による2次災害を防ぎ、有収率の維持に努めている。							
	現時点での有効性を評価してください	上位施策への貢献度はどうか	1	1 高い	2 やや高い	3 やや低い	4 低い			
		説明	危機管理の上で重要な事業である。							
評価	効率性評価 内容や手法を見直すことにより、コストや時間の低減が可能か評価してください	2	1 効率性が高く、これ以上の改善は見込めない	2 効率性が高いが、さらに改善できる余地はある	3 効率性が低く、改善が必要	4 効率性が低い、改善が見込めない				
		説明	発生から解決までの時間を短縮し、周辺への影響を最小限に抑えることで、コストの削減や時間の低減に努めている。							
ACTION	この事業について、今後、具体的にどうすることにより、どんな効果が期待できるか記入してください。		職員の調査技術や業者の修理技術向上に努め、より迅速で正確な対応を実施する。							
	修正行動	この事業の今後の方向性を、費用面も含めて記入してください	2	1 拡大する	2 現状のまま継続	3 縮小する			課内優先度	
説明			4 廃止又は休止する	5 完了する						
		説明	上水道事業において、管路・施設の維持管理は必要不可欠であり、更なる効率化を目指していく。							

事務事業評価表（平成29年度実施事業対象）

（作成日：平成30年6月6日）

事業の種類を選択してください。⇒ (ソフト(義務)) 事業											
P L A N 計 画	事務事業名	給水装置設置事業									
	担当部名	上下水道部		担当課名	上水道課		課長名	山下義孝			
	総合計画の位置付け	目指す都市像(政策)	7	快適な生活を育むまち							
		施策	4	上下水道の整備							
	総合戦略の位置付け	基本目標									
		基本的方向									
	行革大綱の位置付け	重点項目									
		項目									
		改革名									
	予算事業名										
事業の開始年度	昭和	32	年度	事業の終了予定年度	平成	-	年度				
対象	給水装置工事を設置する申請者			事業の内容説明	給水装置工事の申請に至るまでの協議、給水申請後の書類審査、及び工事の監督給水装置完了後の検査を行う。また、新規指定工事業者の受付、審査及び指導を行う。						
事業の目的	適正に給水装置を設置するために、指定工事店や給水装置を設置する者に対して給水装置の協議・受付・審査・検査等を行うことを目的とする。										
市の関与の必要性を評価してください	なぜ市が関与しているのか	1 公共性や収益性の観点から、市が関与すべき事業									
		2 市の関与について見直す余地のある事業（民間に事業の一部又は全部を委ねる余地のあるものや、住民ニーズが低下している等、社会情勢の変化によるものなど）									
	説明										
	やめた場合の影響は	1 非常に大きい		2 やや大きい		3 克服できる範囲内		4 ほとんど無い			
D O 実 施	指標の推移	名称及び単位等			28年度	29年度		30年度	31年度		
					実績	計画	実績	見込み	見込み		
	成果指標	給水申請受付件数			1,031	900	935	900	900		
	活動指標①										
	活動指標②										
	コストの推移 (単位：千円)	財源の内訳			決算	当初予算	決算	当初予算			
		歳出（直接事業費）(a)									
		歳入(b)	受益者負担額								
			受益者負担額以外の歳入（補助金等）								
		(a) - (b) = 一般財源									
正職員		従事者数（単位：人）			1.80	1.80	1.80	1.45			
		人件費(c)			10,273	10,273	10,463	8,429			
トータルコスト(a) + (c)			10,273	10,273	10,463	8,429					
単位当たりコスト	計算式等 (トータルコスト) / (成果指標)			10	11	11	9				
備考											

CHECK	有効性評価	現時点での成果について	2	1 十分な成果が出ている	2 概ね十分な成果が出ている	3 現時点では十分な成果が出ていない	4 成果がほとんど無く、大幅な改善が必要			
		説明	書類審査、竣工検査により、給水装置を適正に設置することができる。							
	現時点での有効性を評価してください	上位施策への貢献度はどうか	1	1 高い	2 やや高い	3 やや低い	4 低い			
		説明	給水装置を適正に設置することで、適切な維持管理ができる。							
評価	効率性評価 内容や手法を見直すことにより、コストや時間の低減が可能か評価してください		2	1 効率性が高く、これ以上の改善は見込めない	2 効率性が高いが、さらに改善できる余地はある	3 効率性が低く、改善が必要	4 効率性が低い、改善が見込めない			
		説明	お客様センターに対する委託内容の見直しにより、更なる事務の効率化に繋がる。							
ACTION	この事業について、今後、具体的にどうすることにより、どんな効果が期待できるか記入してください。		指定給水装置工事事業者への給水条例等に基づく指導等の徹底を図る為、定期的に講習会を開催することにより、より一層周知徹底が図られ、事務の効率化に繋がる。							
	修正行動	この事業の今後の方向性を、費用面も含めて記入してください	2	1 拡大する	2 現状のまま継続	3 縮小する	課内優先度			
説明			4 廃止又は休止する	5 完了する	定期的指定給水装置工事事業者への指導等を徹底する。また、委託内容の見直しや、時代のニーズに応じた関係要綱の改正を図る。					

事務事業評価表（平成29年度実施事業対象）

（作成日：平成30年6月6日）

事業の種類を選択してください。⇒ (ハード) 事業											
P L A N 計 画	事務事業名	更新・耐震化事業									
	担当部名	上下水道部		担当課名	上水道課		課長名	山下義孝			
	総合計画の位置付け	目指す都市像(政策)	7	快適な生活を育むまち							
		施策	4	上下水道の整備							
	総合戦略の位置付け	基本目標									
		基本的方向									
	行革大綱の位置付け	重点項目									
		項目									
		改革名									
	予算事業名										
事業の開始年度	平成	-	年度	事業の終了予定年度	平成	-	年度				
対象				事業の内容説明 (全体計画)	設計・施工管理・検査により、老朽化した上水道管の管路更新・耐震化を行う。						
事業の目的	上水の安定供給を図るため、老朽化した上水道管の管路更新・耐震化を行うことを目的とする。										
妥当性評価	なぜ市が関与しているのか	1 公共性や収益性の観点から、市が関与すべき事業									
		2 市の関与について見直す余地のある事業（民間に事業の一部又は全部を委ねる余地のあるものや、住民ニーズが低下している等、社会情勢の変化によるものなど）									
	市の関与の必要性を評価してください	説明									
	やめた場合の影響は	説明	1 非常に大きい	2 やや大きい	3 克服できる範囲内	4 ほとんど無い					
D O 実 施	指標の推移	名称及び単位等			28年度	29年度		30年度	31年度		
					実績	計画	実績	見込み	見込み		
	成果指標										
	活動指標①	工事件数	2	4	5	5	5				
	活動指標②	施行延長	296	412	622	900	900				
	コストの推移 (単位：千円)	財源の内訳			決算	当初予算	決算	当初予算			
		歳出（直接事業費）(a)			14,678	29,844	38,347	142,394			
		歳入(b)	受益者負担額								
			受益者負担額以外の歳入（補助金等）			1,742	1,501	2,609	5,472		
		(a) - (b) = 一般財源			12,936	28,343	35,738	136,922			
正職員		従事者数（単位：人）			1.45	1.00	1.00	0.95			
		人件費(c)			8,275	5,707	5,813	5,522			
単位当たりコスト	トータルコスト (a) + (c)			22,953	35,551	44,160	147,916				
	計算式等 () / ()										
備考	老朽管布設替管路の施工に際し、耐震管及び耐震継手の使用を行っている。										

CHECK	進捗状況	目標（計画）どおり 進んでいるか	2	1 予定通り	2 概ね予定通り	3 達成できていない	
			説明	他事業等の調整が必要な事業以外の計画した事業箇所については、予定通り実施することができた。			
評価	現時点での有効性を評価してください	上位施策への貢献度はどうか		1 高い	2 やや高い	3 やや低い	4 低い
	効率性評価 内容や手法を見直すことにより、コストや時間の低減が可能か評価してください			1 効率性が高く、これ以上の改善は見込めない	2 効率性が高いが、さらに改善できる余地はある	3 効率性が低く、改善が必要	4 効率性が低い、改善が見込めない
			説明				
ACTION	この事業について、今後、具体的にどうすることにより、どんな効果が期待できるか記入してください。						
修正行動	この事業の今後の方向性を、費用面も含めて記入してください	1	1 継続する	2 見直す	3 廃止又は休止する	課内優先度	
			4 完了する				
		説明	老朽管の更新事業は、平成26年度より事業名を更新・耐震化事業に変更し、引き続き管路更新計画に基づき経年劣化した管路を順次布設替し、併せて耐震化も図っていく。				

事務事業評価表（平成29年度実施事業対象）

（作成日：平成30年6月6日）

事業の種類を選択してください。⇒ (内部管理・維持管理) 事業											
P L A N 計 画	事務事業名	水道メーター取替及び維持管理委託業務									
	担当部名	上下水道部		担当課名	上水道課		課長名	山下義孝			
	総合計画の位置付け	目指す都市像(政策)	7	快適な生活を育むまち							
		施策	4	上下水道の整備							
	総合戦略の位置付け	基本目標									
		基本的方向									
	行革大綱の位置付け	重点項目									
		項目									
		改革名									
	予算事業名										
事業の開始年度	平成	-	年度	事業の終了予定年度	平成	-	年度				
対象	検定満了に伴い取替、取外しを行う水道メーター			事業の内容説明	計量法に基づいて、適切に取替を行う為、取替に必要な金額を算出して、委託業者と契約して取替を行う。また、閉栓中で5年以上使用されていないメーターについても適切に管理する為、取外しに必要な金額を算出し、委託業者と契約し取外しを行う。取替困難箇所については、使用者と協議を行い改善する。						
事業の目的	適正に量水器の管理を行うために、定期的に取り替えることを目的とする。										
市 の 関 与 の 必 要 性 を 評 価 し て く だ さ い	なぜ市が関与しているのか		1 公共性や収益性の観点から、市が関与すべき事業								
			2 市の関与について見直す余地のある事業（民間に事業の一部又は全部を委ねる余地のあるものや、住民ニーズが低下している等、社会情勢の変化によるものなど）								
	説明										
	やめた場合の影響は		1 非常に大きい	2 やや大きい	3 克服できる範囲内	4 ほとんど無い					
D O 実 施	指標の推移	名称及び単位等			28年度	29年度		30年度	31年度		
	成果指標				実績	計画	実績	見込み	見込み		
	活動指標①	検定満了に伴う取替メーター数			6,836	6,484	6,069	6,900	6,900		
	活動指標②	検定満了に伴う取外メーター数			276	298	380	300	300		
	コストの推移 (単位：千円)	財源の内訳			決算	当初予算	決算	当初予算			
		歳出（直接事業費）(a)			12,813	12,522	11,795	12,550			
		歳入(b)	受益者負担額								
			受益者負担額以外の歳入（補助金等）								
		(a) - (b) = 一般財源			12,813	12,522	11,795	12,550			
		正職員	従事者数（単位：人）			0.20	0.20	0.20	0.30		
人件費(c)			1,141	1,141	1,163	1,744					
トータルコスト(a) + (c)			13,954	13,663	12,958	14,294					
単位当たりコスト	計算式等 (トータルコスト) / (活動指標① + ②)			2	2	2	2				
備考	委託業者と契約し、水道メーターを適正に管理している。										

CHECK	有効性評価	現時点での成果について	2	1 十分な成果が出ている	2 概ね十分な成果が出ている	3 現時点では十分な成果が出ていない	4 成果がほとんど無く、大幅な改善が必要			
		説明	取替困難箇所については、現場状況に応じ上水道課と委託業者が連携して対応しており、おおよそ改善している。							
	現時点での有効性を評価してください	上位施策への貢献度はどうか	1	1 高い	2 やや高い	3 やや低い	4 低い			
		説明	水道メーターを適正に管理している。							
評価	効率性評価 内容や手法を見直すことにより、コストや時間の低減が可能か評価してください		1	1 効率性が高く、これ以上の改善は見込めない	2 効率性が高いが、さらに改善できる余地はある	3 効率性が低く、改善が必要	4 効率性が低い、改善が見込めない			
		説明	水道メーター検定満了に伴う取替において、閉栓中で5年以上使用されていないメーターは取外すことにより、メーター不明の解消及び今後のメーター検定満了に伴う取替費用を削減している。							
ACTION	この事業について、今後、具体的にどうすることにより、どんな効果が期待できるか記入してください。		取替困難箇所については、さらに上水道課と委託業者が連携し、速やかに水道メーターの取替を行い、適正な管理を行っていく。							
	修正行動	この事業の今後の方向性を、費用面も含めて記入してください	2	1 拡大する	2 現状のまま継続	3 縮小する	課内優先度			
説明			4 廃止又は休止する	5 完了する	取替困難箇所の解消を図るため、継続して改善を進めて行く。					

事務事業評価表（平成29年度実施事業対象）

（作成日：平成30年6月6日）

事業の種類を選択してください。⇒ (ハード) 事業										
P L A N 計 画	事務事業名	配水管移設事業								
	担当部名	上下水道部		担当課名	上水道課		課長名	山下義孝		
	総合計画の位置付け	目指す都市像(政策)	7	快適な生活を育むまち						
		施策	4	上下水道の整備						
	総合戦略の位置付け	基本目標								
		基本的方向								
	行革大綱の位置付け	重点項目								
		項目								
		改革名								
	予算事業名									
事業の開始年度	平成	—	年度	事業の終了予定年度	平成	—	年度			
対象				事業の内容説明 (全体計画)	他事業で支障になる上水道施設の移設・復旧及びそれに伴う設計・施工管理・検査を行う。					
事業の目的	上水の安定供給を図るため、他事業で支障になる上水道施設を移設することを目的とする。									
妥当性評価	なぜ市が関与しているのか	1 公共性や収益性の観点から、市が関与すべき事業								
		2 市の関与について見直す余地のある事業（民間に事業の一部又は全部を委ねる余地のあるものや、住民ニーズが低下している等、社会情勢の変化によるものなど）								
	市の関与の必要性を評価してください	説明								
		やめた場合の影響は	1 非常に大きい	2 やや大きい	3 克服できる範囲内	4 ほとんど無い				
D O 実 施	指標の推移	名称及び単位等			28年度	29年度		30年度	31年度	
					実績	計画	実績	見込み	見込み	
	成果指標									
	活動指標①	移設件数	12	17	11	16	16			
	活動指標②	施行延長	988	1,720	1,161	1,350	1,350			
	コストの推移 (単位：千円)	財源の内訳			決算	当初予算	決算	当初予算		
		歳出（直接事業費）(a)			57,865	105,374	91,981	174,072		
		歳入(b)	受益者負担額							
			受益者負担額以外の歳入（補助金等）			31,836	36,500	32,659	51,551	
		(a) - (b) = 一般財源			26,029	68,874	59,322	122,521		
正職員		従事者数（単位：人）			1.20	1.45	1.45	1.35		
		人件費(c)			6,848	8,275	8,429	7,848		
単当たりコスト	トータルコスト (a) + (c)			64,713	113,649	100,410	181,920			
備考	支障移設管路の施行に際し、耐震管及び耐震継手の使用を行っている。									

CHECK	進捗状況	目標（計画）どおり 進んでいるか	2	1 予定通り	2 概ね予定通り	3 達成できていない	
			説明	他事業に併せて事業を実施した結果、工事件数及び施工延長の減少が生じたが、下水道課の工事箇所については、概ね公共下水道築造工事の事業に併せて実施することが出来た。			
評価	現時点での有効性を評価してください	上位施策への貢献度はどうか		1 高い	2 やや高い	3 やや低い	4 低い
	効率性評価 内容や手法を見直すことにより、コストや時間の低減が可能か評価してください		1	効率性が高く、これ以上の改善は見込めない	2 効率性が高いが、さらに改善できる余地はある	3 効率性が低く、改善が必要	4 効率性が低い、改善が見込めない
			説明				
ACTION	この事業について、今後、具体的にどうすることにより、どんな効果が期待できるか記入してください。						
修正行動	この事業の今後の方向性を、費用面も含めて記入してください	1	1 継続する	2 見直す	3 廃止又は休止する	課内優先度	
			4 完了する				
		説明	今後も他事業に併せて移設事業を行う。				

事務事業評価表（平成29年度実施事業対象）

（作成日：平成30年6月6日）

事業の種類を選択してください。⇒ (ハード) 事業											
P L A N	事務事業名	配水管埋設事業									
	担当部名	上下水道部		担当課名	上水道課		課長名	山下義孝			
	総合計画の位置付け	目指す都市像(政策)	7	快適な生活を育むまち							
		施策	4	上下水道の整備							
	総合戦略の位置付け	基本目標									
		基本的方向									
	行革大綱の位置付け	重点項目									
		項目									
		改革名									
	予算事業名										
事業の開始年度	平成	-	年度	事業の終了予定年度	平成	-	年度				
対象				事業の内容説明 (全体計画)	上水道管を拡張するために布設及びそれに伴う設計・施工管理・検査を行う。						
事業の目的	上水の安定供給を図るため、上水道管を拡張することを目的とする。										
妥当性評価	なぜ市が関与しているのか	1 公共性や収益性の観点から、市が関与すべき事業									
		2 市の関与について見直す余地のある事業（民間に事業の一部又は全部を委ねる余地のあるものや、住民ニーズが低下している等、社会情勢の変化によるものなど）									
	市の関与の必要性を評価してください	説明									
		やめた場合の影響は	1 非常に大きい	2 やや大きい	3 克服できる範囲内	4 ほとんど無い					
D O 実 施	指標の推移	名称及び単位等			28年度	29年度		30年度	31年度		
					実績	計画	実績	見込み	見込み		
	成果指標										
	活動指標①	工事件数	3	3	2	3	3				
	活動指標②	施行延長	28	53	170	120	120				
	コストの推移 (単位：千円)	財源の内訳			決算	当初予算	決算	当初予算			
		歳出（直接事業費）(a)			7,607	161,640	73,623	171,590			
		歳入(b)	受益者負担額								
			受益者負担額以外の歳入（補助金等）			2,268	1,800	2,442	3,250		
		(a) - (b) = 一般財源			5,339	159,840	71,181	168,340			
正職員		従事者数（単位：人）			1.00	0.55	0.55	0.80			
		人件費(c)			5,707	3,139	3,197	4,650			
トータルコスト(a) + (c)			13,314	164,779	76,820	176,240					
単位当たりコスト	計算式等 () / ()										
備考											

CHECK	進捗状況	目標（計画）どおり 進んでいるか	2	1 予定通り	2 概ね予定通り	3 達成できていない	
			説明	他事業者との調整により、発注時期の調整が生じたが、概ね実施する事が出来た。			
評価	現時点での有効性を評価してください	上位施策への貢献度はどうか		1 高い	2 やや高い	3 やや低い	4 低い
	効率性評価 内容や手法を見直すことにより、コストや時間の低減が可能か評価してください			1 効率性が高く、これ以上の改善は見込めない	2 効率性が高いが、さらに改善できる余地はある	3 効率性が低く、改善が必要	4 効率性が低い、改善が見込めない
			説明				
ACTION	この事業について、今後、具体的にどうすることにより、どんな効果が期待できるか記入してください。						
修正行動	この事業の今後の方向性を、費用面も含めて記入してください	1	1 継続する	2 見直す	3 廃止又は休止する	課内優先度	
			4 完了する				
		説明	今後も新設道路等、他事業の進捗に併せて事業を進める。				

事務事業評価表（平成29年度実施事業対象）

（作成日：平成30年6月6日）

事業の種類を選択してください。⇒		（ ソフト（任意） ）		事業				
P L A N 計 画	事務事業名	広報事業						
	担当部名	上下水道部		担当課名	上水道課	課長名	山下義孝	
	総合計画の位置付け	目指す都市像(政策)	7	快適な生活を育むまち				
		施策	4	上下水道の整備				
	総合戦略の位置付け	基本目標						
		基本的方向						
	行革大綱の位置付け	重点項目						
		項目						
		改革名						
	予算事業名							
事業の開始年度	平成	—	年度	事業の終了予定年度	平成	—	年度	
対象	水道需要者及び施設見学者			事業の内容説明	・ホームページ（HP）を毎月更新し水質検査結果その他の水道事業に関する情報を広く提供する。 ・施設見学、出前講座を実施し、参加者に水道事業に対する理解を深めてもらう。資料を配布し記憶に残りやすいものにする。 ・上下水道部発行の広報誌(年2回)に、関連する業務についての記事を掲載する。			
事業の目的	水道事業に対して理解を深めるために、水道需要者や施設見学者に対して水道事業に関する情報を広く提供することや啓発活動を行うことを目的とする。							
市 の 関 与 の 必 要 性 を 評 価 し て く だ さ い	妥当性評価	なぜ市が関与しているのか	2	1 公共性や収益性の観点から、市が関与すべき事業				
			2	市の関与について見直す余地のある事業（民間に事業の一部又は全部を委ねる余地のあるものや、住民ニーズが低下している等、社会情勢の変化によるものなど）				
	やめた場合の影響は	説明	1	水道法第24条の2に水質検査の結果その他水道事業に関する情報の提供が義務付けられている。また、施設見学・出前講座は市内小学校も対象にして、水道事業の周知・広報の一環として実施している。				
			1	1 非常に大きい	2 やや大きい	3 克服できる範囲内	4 ほとんど無い	
D O 実 施	指標の推移	名称及び単位等		28年度	29年度		30年度	31年度
				実績	計画	実績	見込み	見込み
	成果指標	水道パンフレット配布部数（部）	234	300	257	300	300	
	活動指標①	HP更新回数（回）	12	12	12	12	12	
	活動指標②	施設見学、出前講座参加数（人）	181	300	257	300	300	
	コストの推移 （単位：千円）	財源の内訳		決算	当初予算	決算	当初予算	
		歳出（直接事業費）（a）		8	5	3	418	
		歳入（b）	受益者負担額					
			受益者負担額以外の歳入（補助金等）					
		(a) - (b) = 一般財源		8	5	3	418	
正職員		従事者数（単位：人）		0.35	0.50	0.50	0.65	
		人件費（c）		1,997	2,854	2,907	3,778	
トータルコスト（a）+（c）		2,005	2,859	2,910	4,196			
単位当たりコスト	計算式等 (トータルコスト) / (成果指標)		9	10	11	14		
備考								

CHECK 評価	有効性 評価	現時点での 成果について	3	1 十分な成果が出ている	2 概ね十分な成果が出ている	3 現時点では十分な成果が出ていない	4 成果がほとんど無く、大幅な改善が必要			
		説明	施設見学・出前講座の参加者数に増加の余地がある。							
	現時点での 有効性を評価してください	上位施策 への貢献 度はどうか	1	1 高い	2 やや高い	3 やや低い	4 低い			
		説明	水道水の製造工程や水質の安全性に対する理解が深まり、需要者がより安心して水道水を利用できるようになる。							
評価	効率性評価 内容や手法を見直すこと により、コストや時間の低 減が可能か評価してくだ さい	1	1 効率性が高く、これ以上の改善は見込めない	2 効率性が高いが、さらに改善できる余地はある	3 効率性が低く、改善が必要	4 効率性が低い、改善が見込めない				
		説明	H P 更新は職員が行っている。また、見学等での配布資料は課の印刷経費内で賄えていることから、現時点の費用対効果は高いといえる。費用の削減余地はあまりない。							
ACTION	この事業について、今後、 具体的にどうすることによ り、どんな効果が期待でき るか記入してください。		八木浄水場の閉鎖に伴って施設見学を行うことが難しいため、講座内容の充実を目指す。またH P や広報等で出前講座の事前周知を十分行うことで参加者の確保に努める。更に、校長会への案内を通して小学生の参加者数を増やす。							
	修正 行動	この事業の今後の方向性 を、費用面も含めて記入 してください	2	1 拡大する	2 現状のまま継続	3 縮小する			課内 優先度	B
説明		情報提供、啓発活動は水道事業を理解するのに有効である。今後は内容の充実と参加者の増加を目指し継続していく。								

事務事業評価表（平成29年度実施事業対象）

（作成日：平成30年6月6日）

事業の種類を選択してください。⇒ (内部管理・維持管理) 事業											
P L A N 計 画	事務事業名	水質検査事業									
	担当部名	上下水道部		担当課名	上水道課		課長名	山下義孝			
	総合計画の位置付け	目指す都市像(政策)	7	快適な生活を育むまち							
		施策	4	上下水道の整備							
	総合戦略の位置付け	基本目標									
		基本的方向									
	行革大綱の位置付け	重点項目									
		項目									
		改革名									
	予算事業名										
事業の開始年度	平成	-	年度	事業の終了予定年度	平成	-	年度				
対象	上下水道部が供給している水道水			事業の内容説明	・毎日8箇所、濁度・色度・残塩の検査を行う。 ・自己水質検査を月1回、2箇所の配水場及び12箇所の自治会地区内の公共施設等の給水栓より採水して実施。 年2回、市内2箇所の耐震性貯水槽より採水して実施。 年1回、小中学校22校より採水して実施。 ・自己検査できない項目については、奈良広域水質検査センター組合に検査を委託する（管末2箇所、年4回）。						
事業の目的	水道水の品質を保证するために、上下水道部が供給している水道水を検査することを目的とする。										
市 の 関 与 の 必 要 性 を 評 価 し て く だ さ い	なぜ市が関与しているのか	1 公共性や収益性の観点から、市が関与すべき事業									
		2 市の関与について見直す余地のある事業（民間に事業の一部又は全部を委ねる余地のあるものや、住民ニーズが低下している等、社会情勢の変化によるものなど）									
	説明										
	やめた場合の影響は	1 非常に大きい		2 やや大きい		3 克服できる範囲内		4 ほとんど無い			
D O 実 施	指標の推移	名称及び単位等			28年度	29年度		30年度	31年度		
					実績	計画	実績	見込み	見込み		
	成果指標	自己検査検体数 ①+②(件)			3,085	3,114	3,031	3,114	3,114		
	活動指標①	毎日検査検体数 (件)			2,891	2,920	2,837	2,920	2,920		
	活動指標②	毎月検査検体数 (件)			194	194	194	194	194		
	コストの推移 (単位：千円)	財源の内訳			決算	当初予算	決算	当初予算			
		歳出 (直接事業費) (a)			1,959	2,258	1,765	2,675			
		歳入 (b)	受益者負担額								
			受益者負担額以外の歳入 (補助金等)								
		(a) - (b) = 一般財源			1,959	2,258	1,765	2,675			
正職員		従事者数 (単位：人)			0.70	0.70	0.70	0.80			
		人件費 (c)			3,995	3,995	4,069	4,650			
トータルコスト (a) + (c)			5,954	6,253	5,834	7,325					
単位当たりコスト	計算式等 (トータルコスト) / (成果指標①+②)			2	2	2	2				
備考											

CHECK	有効性評価	現時点での成果について	1	1 十分な成果が出ている	2	概ね十分な成果が出ている	3	現時点では十分な成果が出ていない	4	成果がほとんど無く、大幅な改善が必要	
		説明	検体数も安定して推移している。								
	現時点での有効性を評価してください	上位施策への貢献度はどうか	1	1 高い	2	やや高い	3	やや低い	4	低い	
		説明	水道水の水質に関心が高くなっている。検査結果をHP上に掲載しており、利用している水道水の水質を知ることができる。更には水質に関する問合せ等にも訪問調査等を行い顧客満足度アップを図ることができている。								
評価	効率性評価 内容や手法を見直すことにより、コストや時間の低減が可能か評価してください	2	1 効率性が高く、これ以上の改善は見込めない	2	効率性が高いが、さらに改善できる余地はある	3	効率性が低く、改善が必要	4	効率性が低い、改善が見込めない		
		説明	自己検査を廃止すると委託せざるを得ないが、現状全て委託すれば多額の費用が必要であり、また即応性に欠ける。ただし、自己検査体制でも人手や機器更新等は必要である。								
ACTION	この事業について、今後、具体的にどうすることにより、どんな効果が期待できるか記入してください。		毎月検査の自己水質検査については、人員削減により検査員の確保が難しい面があるが、検査方法のマニュアル化等に対応し、更なる水質検査技術の向上に努める。それにより、検査精度と効率性の向上を図ることができる。								
	修正行動	この事業の今後の方向性を、費用面も含めて記入してください	2	1 拡大する	2	現状のまま継続	3	縮小する	課内優先度		
説明			4 廃止又は休止する	5	完了する	密度の高い水質情報の提供には検体数の維持は必要であり、水質管理の重要・即応性から自己検査体制は必要不可欠でもあるため、トータルコストを抑制しつつ現体系で今後も継続する。また、水質についての顧客満足度アップを図っていく。					

事務事業評価表（平成29年度実施事業対象）

（作成日：平成30年6月6日）

事業の種類を選択してください。⇒ (内部管理・維持管理) 事業											
P L A N 計 画	事務事業名	配水場運転維持管理事業									
	担当部名	上下水道部		担当課名	上水道課		課長名	山下義孝			
	総合計画の位置付け	目指す都市像(政策)	7	快適な生活を育むまち							
		施策	4	上下水道の整備							
	総合戦略の位置付け	基本目標									
		基本的方向									
	行革大綱の位置付け	重点項目									
		項目									
		改革名									
	予算事業名										
事業の開始年度	昭和	45	年度	事業の終了予定年度	平成	-	年度				
対象	配水場施設等			事業の内容説明	・年間の送水計画を策定し、県水道局と受水調整を図りつつ、 橿原市上下水道部中央管理棟からの遠隔操作により均等受水に努め、安定的に配水する。 ・ポンプ設備や電気計装設備等の定期的なメンテナンスを実施することにより、配水場施設の良好な維持管理を図る。 ・配水施設の増設及び再編による集約化を行い、更新コスト削減を図る。						
事業の目的	上水の安定供給のため、配水場施設等において良好な維持管理を図ることや、適正な受水・送水を行うことを目的とする。										
市 の 関 与 の 必 要 性 を 評 価 し て く だ さ い	なぜ市が関与しているのか	1 公共性や収益性の観点から、市が関与すべき事業									
		2 市の関与について見直す余地のある事業（民間に事業の一部又は全部を委ねる余地のあるものや、住民ニーズが低下している等、社会情勢の変化によるものなど）									
	説明										
	やめた場合の影響は	1 非常に大きい		2 やや大きい		3 克服できる範囲内		4 ほとんど無い			
D O 実 施	指標の推移	名称及び単位等			28年度	29年度		30年度	31年度		
					実績	計画	実績	見込み	見込み		
	成果指標	県水総受水量 ①+② (千m3)			13,317	13,404	13,289	13,067	12,921		
	活動指標①	白檀配水場受水量 (千m3)			6,172	6,504	6,287	5,932	5,866		
	活動指標②	一町配水場受水量 (千m3)			7,145	6,900	7,002	7,135	7,055		
	コストの推移 (単位：千円)	財源の内訳			決算	当初予算	決算	当初予算			
		歳出 (直接事業費) (a)			1,819,591	2,225,959	2,108,921	1,886,234			
		歳入 (b)	受益者負担額								
			受益者負担額以外の歳入 (補助金等)			422,215	243,317	13,217	9,877		
		(a) - (b) = 一般財源			1,397,376	1,982,642	2,095,704	1,876,357			
正職員		従事者数 (単位：人)			2.10	1.95	1.95	2.20			
		人件費 (c)			11,985	11,129	11,335	12,789			
単位当たりコスト	トータルコスト (a) + (c)			1,831,576	2,237,088	2,120,256	1,899,023				
	計算式等 (トータルコスト) / (成果指標)			138	167	160	145				
備考											

CHECK	有効性評価	現時点での成果について	1	1 十分な成果が出ている	2 概ね十分な成果が出ている	3 現時点では十分な成果が出ていない	4 成果がほとんど無く、大幅な改善が必要			
		説明	水道の安定供給が達成できている。							
	現時点での有効性を評価してください	上位施策への貢献度はどうか	1	1 高い	2 やや高い	3 やや低い	4 低い			
		説明	県営水道より必要水量を確保している。水道の安定供給は必要不可欠である。							
評価	効率性評価 内容や手法を見直すことにより、コストや時間の低減が可能か評価してください	2	1 効率性が高く、これ以上の改善は見込めない	2 効率性が高いが、さらに改善できる余地はある	3 効率性が低く、改善が必要	4 効率性が低い、改善が見込めない				
		説明	コストの多くが県営水道の受水（購入）費用であり、低減余地は少ない。平成28年度より受水100%となったため、受水費用は増大したが、奈良県水道局との責任分界点を見直し、ランニングコスト・更新コストを抑制した。また、施設集約によって建設コストを抑制し、コスト縮減した。							
ACTION	この事業について、今後、具体的にどうすることにより、どんな効果が期待できるか記入してください。		設備・機器の老朽化を補完するためメンテナンスや更新等を適切に行うことにより施設の安全性を維持していくことができる。また配水施設の増設及び再編による集約化を行う。							
	修正行動	この事業の今後の方向性を、費用面も含めて記入してください	1	1 拡大する	2 現状のまま継続	3 縮小する			課内 優先度	
説明			4 廃止又は休止する	5 完了する	水道水の供給のため不可欠な事業である。ただし、平成28年度からの自己水の廃止による県営水道受水量の増大、及び配水池新設のため費用は拡大する。供給コストを考慮し、設備・機器更新を適切に行いながら施設の安全性を維持する。					

事務事業評価表（平成29年度実施事業対象）

（作成日：平成30年 5月 31日）

事業の種類を選択してください。⇒ (ハード) 事業											
P L A N 計 画	事務事業名	汚水施設建設事業									
	担当部名	上下水道部	担当課名	下水道課	課長名	片木 幹夫					
	総合計画の位置付け	目指す都市像(政策)	7	快適な生活を育むまち							
		施策	4	上下水道の整備							
	総合戦略の位置付け	基本目標									
		基本的方向									
	行革大綱の位置付け	重点項目									
		項目									
		改革名									
	予算事業名	汚水管路建設費・流域下水道建設負担金									
事業の開始年度	平成	-	年度	事業の終了予定年度	平成	-	年度				
対象											
事業の目的	河川の水質向上や、快適な生活環境を実現するために、汚水管渠の建設を推進します。			事業の内容説明(全体計画)	現在、事業計画の認可を受けている区域（約1,928ha）の内、人口密集地や市街化の著しい区域を優先的に、計画的かつ効率的に整備を進め、下水道処理人口普及率の向上を目指します。また、開発事業等に伴う施設建設についても、整備計画との整合や適切な維持管理に留意しながら協議・指導を行います。						
市 の 関 与 の 必 要 性 を 評 価 し て く だ さ い	なぜ市が関与しているのか	1 公共性や収益性の観点から、市が関与すべき事業									
		2 市の関与について見直す余地のある事業（民間に事業の一部又は全部を委ねる余地のあるものや、住民ニーズが低下している等、社会情勢の変化によるものなど）									
	説明										
	やめた場合の影響は	1 非常に大きい		2 やや大きい		3 克服できる範囲内		4 ほとんど無い			
D O 実 施	指標の推移	名称及び単位等			28年度	29年度		30年度	31年度		
					実績	計画	実績	見込み	見込み		
	成果指標										
	活動指標①	下水道処理人口普及率（%）			77	78	78	78	79		
	活動指標②										
	コストの推移 (単位：千円)	財源の内訳			決算	当初予算	決算	当初予算			
		歳出（直接事業費）(a)			437,804	962,970	635,003	863,301			
		歳入(b)	受益者負担額								
			受益者負担額以外の歳入（補助金等）			258,091	340,000	207,224	300,000		
		(a) - (b) = 一般財源			179,713	622,970	427,779	563,301			
正職員		従事者数（単位：人）			9.80	9.05	9.05	7.55			
		人件費(c)			55,929	51,648	52,608	43,888			
トータルコスト(a) + (c)			493,733	1,014,618	687,611	907,189					
単位当たりコスト	計算式等 () / ()										
備考											

CHECK	進捗状況	目標（計画）どおり 進んでいるか	1	1 予定通り	2 概ね予定通り	3 達成できていない	
			説明	限られた予算の有効活用により、普及率の着実なる向上を維持しています。			
評価	現時点での有効性を評価してください	上位施策への貢献度はどうか		1 高い	2 やや高い	3 やや低い	4 低い
	効率性評価 内容や手法を見直すことにより、コストや時間の低減が可能か評価してください		1	1 効率性が高く、これ以上の改善は見込めない	2 効率性が高いが、さらに改善できる余地はある	3 効率性が低く、改善が必要	4 効率性が低い、改善が見込めない
			説明				
ACTION	この事業について、今後、具体的にどうすることにより、どんな効果が期待できるか記入してください。						
修正行動	この事業の今後の方向性を、費用面も含めて記入してください	1	1 継続する	2 見直す	3 廃止又は休止する	課内優先度	
			4 完了する				
		説明	予算や従事者を確保し、コスト意識を持って事業に取り組みます。				

事務事業評価表（平成29年度実施事業対象）

（作成日：平成30年 5月 31日）

事業の種類を選択してください。⇒ (内部管理・維持管理) 事業												
P L A N 計 画	事務事業名	下水道施設維持管理事業										
	担当部名	上下水道部	担当課名	下水道課	課長名	片木 幹夫						
	総合計画の位置付け	目指す都市像(政策)	7	快適な生活を育むまち								
		施策	4	上下水道の整備								
	総合戦略の位置付け	基本目標										
		基本的方向										
	行革大綱の位置付け	重点項目										
		項目										
		改革名										
	予算事業名	汚水管渠費・汚水管路建設費										
事業の開始年度	平成	-	年度	事業の終了予定年度	平成	-	年度					
対象	市が管理すべき公共下水道（污水）施設			事業の内容説明	下水道施設の破損による事故や堆積物による流下能力の低下を未然に防ぐため、計画的に調査を行い、必要な箇所については、修繕・改築及び清掃を行う。							
事業の目的	下水道施設の適切な維持管理により安心して快適に暮らせることを目的とする。											
市 の 関 与 の 必 要 性 を 評 価 し て く だ さ い	なぜ市が関与しているのか	1 公共性や収益性の観点から、市が関与すべき事業										
		2 市の関与について見直す余地のある事業（民間に事業の一部又は全部を委ねる余地のあるものや、住民ニーズが低下している等、社会情勢の変化によるものなど）										
	説明											
	やめた場合の影響は	1 非常に大きい		2 やや大きい		3 克服できる範囲内		4 ほとんど無い				
D O 実 施	指標の推移	名称及び単位等			28年度	29年度		30年度	31年度			
					実績	計画	実績	見込み	見込み			
	成果指標	管路調査率			100	100	100	100	100			
	活動指標①	修繕率			100	100	100	100	100			
	活動指標②											
	コストの推移 (単位：千円)	財源の内訳			決算	当初予算	決算	当初予算				
		歳出（直接事業費）(a)			140,831	110,016	114,519	85,800				
		歳入(b)	受益者負担額									
			受益者負担額以外の歳入（補助金等）			30,570	25,000	30,000	11,950			
		(a) - (b) = 一般財源			110,261	85,016	84,519	73,850				
正職員		従事者数（単位：人）			1.90	2.65	2.65	3.20				
		人件費(c)			10,843	15,124	15,404	18,602				
トータルコスト(a) + (c)			151,674	125,140	129,923	104,402						
単位当たりコスト	計算式等 () / ()											
備考												

CHECK	有効性評価	現時点での成果について	2	1 十分な成果が出ている	2 概ね十分な成果が出ている	3 現時点では十分な成果が出ていない	4 成果がほとんど無く、大幅な改善が必要			
		説明	定期的な下水道施設の点検を行い、必要に応じた改築を行うことで事故等を未然に防ぐ。							
	現時点での有効性を評価してください	上位施策への貢献度はどうか	2	1 高い	2 やや高い	3 やや低い	4 低い			
		説明	健全な施設管理を図ることで快適な市民生活を育める。							
評価	効率性評価 内容や手法を見直すことにより、コストや時間の低減が可能か評価してください		2	1 効率性が高く、これ以上の改善は見込めない	2 効率性が高いが、さらに改善できる余地はある	3 効率性が低く、改善が必要	4 効率性が低い、改善が見込めない			
		説明	適正な維持管理を行う上で、コスト削減の余地はあまりないが、可能な縮減に取り組む。							
ACTION	この事業について、今後、具体的にどうすることにより、どんな効果が期待できるか記入してください。		下水道施設を計画的に調査することで効率的な維持管理ができ、下水道のサービスを安定的に提供できる。							
	修正行動	この事業の今後の方向性を、費用面も含めて記入してください	2	1 拡大する	2 現状のまま継続	3 縮小する		課内優先度		
説明			4 廃止又は休止する	5 完了する	下水道施設の維持管理には、更新も含め計画的に調査を行い、且つ、効率的に行う必要がある。ストックマネジメント計画を策定し、事業を進めていく。今後施設の老朽化も進むことから、事業費が増えることが予想される。					

事務事業評価表（平成29年度実施事業対象）

（作成日：平成30年 5月 31日）

事業の種類を選択してください。⇒ (ソフト (任意)) 事業										
P L A N 計 画	事務事業名	水洗化普及促進事業								
	担当部名	上下水道部	担当課名	下水道課	課長名	片木 幹夫				
	総合計画の位置付け	目指す都市像(政策)	7	快適な生活を育むまち						
		施策	4	上下水道の整備						
	総合戦略の位置付け	基本目標								
		基本的方向								
	行革大綱の位置付け	重点項目								
		項目								
		改革名								
	予算事業名	普及指導費・排水設備費								
事業の開始年度	平成	-	年度	事業の終了予定年度	平成	-	年度			
対象	供用開始区域内の下水道未利用者			事業の内容説明	下水道への接続を促進するため普及相談員による啓発を充実する。また、貸付金制度について周知を図る。					
事業の目的	より多くの市民に公共下水道を利用してもらうよう、啓発等により接続率の向上に努めることを目的とする。									
市の関与の必要性を評価してください	なぜ市が関与しているのか	1	1 公共性や収益性の観点から、市が関与すべき事業							
			2 市の関与について見直す余地のある事業（民間に事業の一部又は全部を委ねる余地のあるものや、住民ニーズが低下している等、社会情勢の変化によるものなど）							
	説明	下水道への接続を促進することで収益が増加する。								
	やめた場合の影響は	2	1 非常に大きい	2 やや大きい	3 克服できる範囲内	4 ほとんど無い				
説明	接続率の向上が見込めず、健全な下水道事業経営が確保できない。									
D O 実 施	指標の推移	名称及び単位等			28年度	29年度		30年度	31年度	
					実績	計画	実績	見込み	見込み	
	成果指標	接続率			87	88	88	88	88	
	活動指標①	接続戸数			40,262	40,500	40,916	41,100	41,300	
	活動指標②	普及訪問戸数			1,644	1,000	1,830	1,200	1,200	
	コストの推移 (単位：千円)	財源の内訳			決算	当初予算	決算	当初予算		
		歳出（直接事業費）(a)			4,326	2,802	2,697	3,037		
		歳入(b)	受益者負担額			425	300	194	282	
			受益者負担額以外の歳入（補助金等）			1,027	1,030	1,053	1,185	
		(a) - (b) = 一般財源			2,874	1,472	1,450	1,570		
正職員		従事者数（単位：人）			1.90	1.85	1.85	1.60		
		人件費(c)			10,843	10,558	10,754	9,301		
トータルコスト(a) + (c)			15,169	13,360	13,451	12,338				
単位当たりコスト	計算式等 () / ()									
備考	従事者数について、H29計画の時点では再任用職員が含まれていたが、以降含めないこととなったため変更が生じた。									

CHECK 評価	有効性 評価	現時点での 成果について	2	1 十分な成果が出ている	2 概ね十分な成果が出ている	3 現時点では十分な成果が出ていない	4 成果がほとんど無く、大幅な改善が必要			
		説明	新たに供用開始区域が拡大し、処理区域内の人口が増え、接続人口は増加している。							
	現時点での 有効性を評価してください	上位施策 への貢献 度はどうか	2	1 高い	2 やや高い	3 やや低い	4 低い			
		説明	公共下水道が整備されても各家庭が接続しなければ接続率の向上につながらない。							
評価	効率性評価 内容や手法を見直すことにより、コストや時間の低減が可能か評価してください	1	1 効率性が高く、これ以上の改善は見込めない	2 効率性が高いが、さらに改善できる余地はある	3 効率性が低く、改善が必要	4 効率性が低い、改善が見込めない				
			説明	啓発用のリーフレットなどの購入やパンフレットの作成等最小のコストで行っている。						
ACTION	この事業について、今後、具体的にどうすることにより、どんな効果が期待できるか記入してください。		下水道が供用開始された区域においては、広報誌、ホームページ等による情報提供を充実し、下水道への接続を促進します。また、供用開始後、未接続家屋の住民に対して経過年数に応じた効果的な啓発活動を行うよう努め、早急なる水洗化を促進します。							
	修正 行動	この事業の今後の方向性を、費用面も含めて記入してください	2	1 拡大する	2 現状のまま継続	3 縮小する			課内 優先度	B
4 廃止又は休止する				5 完了する						
		説明	予算は現状のままで、接続促進のため、より効果的な啓発内容の検討を行う。							